

令和6年3月4日(月)

校長室より(163)



こんにちは。

3月の全校朝会ぜんこうちょうかいがありました。明日の卒業そつぎょうを祝いわう会を行えるように、  
感染症対策かんせんしょうたいさくのため急遽きゅうきょオンラインへんこうに変更して行いました。

三咲っ子のみなさん、おはようございます。

延期した「卒業を祝う会」が、いよいよ明日になりましたね。今まで、学校のためにがんばってきてくれた6年生に、「ありがとう」の気持ちをたくさん伝えてください。

今日は、「心」の話をします。心は、みんなが嬉しい気持ち、楽しい気持ちを感じるところです。ふだんは見えないものですが、見えるように作ってきました。ハートの形です。

心は、嬉しい気持ちや楽しい気持ちだけを感じるところではありませんね。これから私が話すことをちょっと思い浮かべてみてください。

① 机やノートに、「バカ」とか「くそ」、「のろま」などの落書きをする、『いやがらせ』

こんなことをされたら、誰でも悲しい気持ちが「矢」のように心に刺さります。このように。

② 失敗したり、人と違ったりしていることを笑ったりする、『ひやかし』

③ 「○○ちゃんと話すの止めようよ。」などと、その人が来たら急におしゃべりをやめたり、一人ぼっちにしたりする、『無視』や『仲間外し』

④ 遊ぶふりをして、叩いたり蹴ったりする、『暴力』

⑤ 「死ね」、「弱虫」、「きもい」、「かわいこぶってる」などと言う、『言葉の暴力』

⑥ シャベリ方や動き方、仕草を真似する、『からかい』

これらは、自分がふざけてやったつもりでも、「いじめ」になります。いじめられた人の心には、こんなふう矢が刺さってしまいます。

こんなふうになってしまった心は、これからどうなるでしょうか。このままだと、学校に来られなくなる人、家から出られなくなる人、何もかも嫌になって死んでしまう人もいるかもしれません。こんな友達がいたとしたら、このままにしておいていいのでしょうか？

よくないですね。心が壊れてしまう前に、いじめの矢を抜かなくてはなりません。でも、いじめの矢は、いじめられている本人には、なかなか抜くことができないのです。抜くことができるのは、まわりの友達の協力、みんなの力です。

- 「あなたは、一人じゃないよ。」「ぼくと一緒にいればいいよ。」「大丈夫だよ、私がついている。」「心配ないからね。」などと声をかけたり、励ましたりすること。
- いじめをした人が反省して、「ごめんなさい、もう二度としない。」と謝ること。
- 周りの人が、いじめをしている人へ「それは、いじめだぞ。」と、勇気を出して止めること。
- 周りの人が、「〇〇さんがいじめられているみたいです。」と先生や家の人に伝えること。  
これはなかなか難しいことだと思いますが、
- いやがらせや暴力を受けている本人が、ひとりで悩んでないで、友達や先生、家族に相談すること。

自分の周りにいじめの矢が刺さっているお友達がいたら、声をかけ、励まして、いじめの矢を抜いてあげてください。

もう一度この心を見てください。矢は抜けましたが、抜けた跡はどうなっていますか？穴のあとが残っています。全部抜いても心の傷跡は残るのです。なかなか消えないのです。10年たっても、20年たっても、忘れるのができないこともあります。だから「いじめ」は絶対にはいけません。



いじめをした子に「君は、なぜ、そんなことをしたの？」と聞いたことがあります。すると、その子は、「自分が同じ事をされても平気だから、相手がそんなに嫌だったとは思わなかった。いじめだとは思わなかった。」と言いました。同じことを言ったりしたりしても、矢が刺さらない人もいます。ちょっとしか刺さらない人もいるし、グサグサ刺さる人もいます。自分は、ふざけているつもりでなくても、いじめになってしまうことがあります。だから、相手の気持ちを考えて行動するようにしましょう。

卒業を祝う会はまだ終わっていませんが、今日の2時間目から、  
そつぎょうしきれんしゅう さいしよ きょうむしゅにん しらいしせんせい  
卒業式練習が始まりました。最初は、教務主任の白石先生が、卒業式  
こころがま しよさ きりつ ちゃくせき すわ かた れい  
に向けての心構えや所作といわれる起立や着席、座り方、礼の仕方な  
くわ せつめい  
どについて詳しく説明しました。卒業まで「あと11日」です。